



誠之小だより



学校HP

津市立誠之小学校

令和5年度 第6号

<学校教育目標> 自ら学び心豊かでたくましい子どもを育てる 10月11日(水)(文責 校長)

令和5年度全国学力・学習状況調査結果から

今年4月18日(火)に、小学校6年生と中学校3年生を対象に全国学力・学習状況調査が実施されました。この調査は、「教科に関する調査」(学力:小学校は、国語・算数、中学校は、国語・数学・英語)と「質問紙調査」(児童・生徒の学習状況)の2つで構成されています。結果について説明します。



【1 本年度の「教科に関する調査」の平均正答率より】

	国語	算数
誠之小	62%	59%
津市	66%	61%
三重県	67%	62%
全国	67.2%	62.5%

正答率とは、全部の問題が正解であれば「100%」だということです。

誠之小は、「国語」「算数」とともに市・県・全国と比較して3%~4%程度低いという結果でした。

なお、教科によって異なりますが、問題数は少なく、14問~17問です。各教科であと1問正解すれば、正答率が大きく変化することになります。

【2 結果からわかってきたことなど】

国語については、送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことや、情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことなど「知識・技能」の領域において一定の「強み」がみられるものの、目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるなどの「思考力・判断力・表現力等」の領域において「弱み」になっている傾向があります。

算数については、正三角形の意味や性質について理解しているかを問う問題や()を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることができるかを問う問題について「強み」が見られるものの、示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断できるかを問う問題に「弱み」が見られます。



これらの結果をふまえ、知識・技能の定着を図るとともに、「弱み」として見られる、思考力・判断力・表現力等を育てるために子どもたちの対話や議論を通じて互いの多様な考え方の共通点や相違点を理解し、協力しながら問題を解決していく学習活動を実施していきたいと思えます。

【3 質問紙調査の結果で気になったこと・・・全国平均と比較して低かった質問項目】

「将来の夢や目標をもっていますか」「授業で学んだとことを、ほかの学習で生かしてい

ますか」「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」など・・・とても気になります。
今後、教職員で児童の実態をしっかりととらえ、教育活動全体を見直したいと思います。

【お知らせ…名札について】

4月から、PTA活動として運動会の準備や奉仕作業など様々な面で学校教育に対し、ご支援ありがとうございます。

先日のPTA本部役員会において、現在、校内のみ着用している児童用名札について話し合われ、来年度はPTAで全校児童数の名札を準備していただくこととなりましたのでお知らせします。引き続き学校教育に対し、ご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。

これまでの行事をいくつか紹介します

2学期になり、学校全体で様々な行事がありました。そのうちのいくつかを紹介したいと思います。

		
9月15日（金）に3年生が井村屋、リージョンプラザ、ジャパンマリユナイテッドに社会見学に行きました。	9月28日（木）に4年生が、ミエム、神楽童夢、津市リサイクルセンターに社会見学に行きました。	9月22日（金）に5年生が、環境学習センター、味の素に社会見学に行きました。

○校長のつぶやき

朝夕は、涼しくなり秋を感じる今日この頃です。秋は、過ごしやすい季節であることなどから「読書の秋」「スポーツの秋」など「～の秋」とよく言われます。この季節の中、6年生は修学旅行に奈良・京都にいきます。先月あたりから、6年生の教室を参観すると「先生、修学旅行楽しみやな」「修学旅行は天気いいかな」などの声が多く聞かれるようになりました。しっかりと学習するとともに、奈良・京都の秋を感じ、友だちと語り合うことでなかまのつながりが強くなることだと思います。



それぞれの子どもが、どのような思い出を作るかとても楽しみにしています。

《今後の主な行事》 12・13日：6年修学旅行 18日：1・2年遠足
23日：PTA芸術鑑賞



